



情報シート

在宅介護は受けられます

Coronavirus
(COVID-19)

オーストラリア政府は、あなたの健康を最優先に考えています。コロナウイルス(COVID-19)対策もそのひとつです。

あなたを訪問して在宅介護を提供する訪問介護員も、あなたの健康を守るためにできる限りの対処をしています。

それにはオーストラリア首席医務官による防護具着用に関する通達の遵守も含まれています。

地域により、介護職員が個人用防護具(マスク、手袋、ガウン、防護眼鏡等)の着用を義務づけられている場合があります。

訪問介護員が防護具着用を義務づけられるのは、以下のような場合です。

- 被介護者が COVID-19 と診断された場合
- 被介護者が COVID-19 にかかっているおそれがある場合
- 被介護者が COVID-19 の症状を示している場合

COVID-19 の症状を示している訪問介護員は勤務できません。念のために、症状があるワーカーは検査を受けることになっています。

訪問介護員は、自分自身や被介護者を COVID-19 から守るために、最善の医療通達に従っています。

より詳しい情報

COVID-19 に関する詳しい情報は、ナショナル・コロナウイルス・ヘルプライン **1800 020 080** に電話するか、またはウェブサイト [health.gov.au](https://www.health.gov.au) をご覧ください。

支援サービスに関するお問い合わせは、マイ・エイジドケア **1800 200 422** までお電話ください。

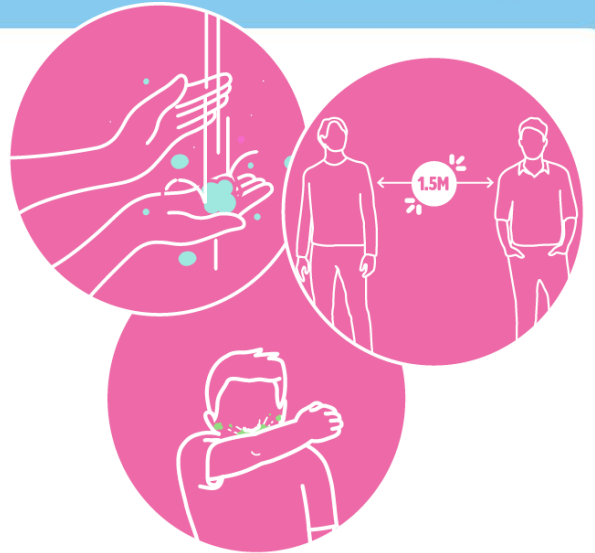
ケアサービスや訪問介護員について懸念がある場合は、ご利用のサービス提供元にご連絡ください。



コロナウイルスから自分を守るために

あなた自身や家族をコロナウイルスから守るためには、正しい衛生習慣と、対人接触に注意することが一番重要です。そのためには以下に注意しましょう。

- 咳・くしゃみの際はひじの内側やティッシュで鼻と口を覆う
- ティッシュはそのままゴミ箱に入れ、手を洗う
- 食事の前後、トイレ使用后、外出から帰った後など、こまめに石鹸と流水で手を洗う
- 可能なら、アルコール消毒液(アルコール 60%)を使用
- 使用する物や面をこまめに清掃・消毒する
- 外出せず、支援や介護を必要とする場合以外はなるべくヒトとの接触を避ける
- 不要不急の旅行はしない
- 薬は届けてもらうようにする
- 食料品や必需品も自宅に配達してもらうようにする
- できるだけ 1.5m の対人距離を確保する



健康維持のために

定期的な在宅介護や医療は継続しましょう。それらは、コロナウイルスから身を守るのと同じくらい重要です。

かかりつけの医師とは定期的に連絡を取り、自分の健康状態に懸念があれば随時相談しましょう。電話やビデオ通話で相談することもできますし、実際に会って診てもらうことも可能です。

